

受 験 番 号

国 語

(100 点 60 分)

(2026 年度 一般入学試験 A-2)

注 意 事 項

- 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- この問題冊子は表紙を除き、15 ページです。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
 - 氏 名 欄 漢字氏名を記入してください。
 - 科 目 名 欄 「国語」と記入してください。
 - 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。
例えば

20

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のように **20 の解答マーク欄の③にマーク**してください。

(例)

	解 答 マ ー ク 欄											
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-	⊕

解答マーク欄に複数のマークをすると、不正解になります。訂正するときは消しゴムできれいに消して、書き直してください。

- 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 不正行為について
 - 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(
解
答
番
号

1

5

34

)

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問10）に答えなさい。

そもそも、どうして他人の自慢話は不愉快なのか。あらためて問うまでもないのかもしれないが、ここでは帝政ローマの歴史家プルタルコスの「妬まれずに自分をほめることについて」という論考を見よう。それによると、第一に、自分で自分を誉めることは恥知らずなことであり、たとえ他人に誉められたとしても恥じらうべきである。さらに、賞賛とは他人から受け取るべきもので、それを自分で自分に与えることは正しくない。自画自賛は良識に反するのであり、だからこそ私たちはそれをとめても苦痛に感じるわけだ。

そればかりではない。さらに不快に思われるのは、自慢話がともに賞賛するよう私たちに強いるからでもある。自慢話に^aヘイコウしている、相手はこちらがやかんでいると思うかもしれない。そうした嫌疑を逃れようとすれば、おのずと賞賛の輪に加わらざるをえないわけだが、これは「敬意による行ないではなく、媚^こびへつらいであり、奴隷的な行ないであると言うのがふさわしい」と厳しく評価される。こうした見解は、現代に生きる私たちにとっても文句なしに頷^{うなず}けるものだろう。

だが、¹相手を不快にしない自慢というのものもある。状況次第では誇示もやむを得ないことがあるのだ。たとえば中傷や告発に対して弁明をするときや「不運に見舞われている」とき、あるいは「不正なめにあった政治家」などがその例として挙げられるが、いずれも虚栄心からではなく、不利な立場を強いられたときの弁明のための誇示であれば、聴衆に不快感を抱かせることはあまりない。

もとより「自分について語る」ことは、弁論術の一つのテーマであった。そのため聴衆に向けて、嫌味に聞こえないよう自らの業績を語る作法がきわめて重要だったわけだ。たとえばプルタルコスは、聴衆に妬みを生じさせないテクニクとして、（注1）デモステネスの演説を高く評価する。それによるとデモステネスは「自分について語るとき、そこに聴衆への賞賛をきわめて巧みに取り混ぜることで、妬みが生じないように、また利己的にならないようにしている」。あるいは自分に似ていたり、同じような業績を持つ他人を頃よく誉めることで、さりげなく賞賛を自分に誘導するものも^A的である。

もちろん自慢話がつともないことは誰でも知っている。それでも私たちはその^bカンビさに誘われ、^{わな}罠に嵌^{はま}ることがある。「自慢話はその大部分が²自己愛から発するものであるため、名声に対して十分に節度があると思われている人も、しばしばそれにはつきりと手を染めている」。

どうすれば不適切な自己賞賛から逃れることができるだろうか。³プルタルコスの助言は、伝染病の流行^{はや}っている場所を避けるという健康術に準じるものだ。つまり、「自慢話には、あらゆる口実を用いてわたしたちを自慢話へと誘い込み、そこに陥らせる特定の機会や話題」があり、したがってそれらを避けることが賢明になる。たとえば、他人が誉められている時や、偉い指導者や著名人たちとの宴会の帰り道、さらには人をシツ^cセキしたりとがめる場合など。そういうわけでプルタルコスは「自分自身や聞いている人に何か大きな利益をもたらす（たとえば聞いている人を励ましたり刺激するような自慢——引用者による補足）ことが望めないかぎり、自慢話はやめることにしよう」と読者にすすめている。

4 時宜を得ない誇示はみつともない。ただし、それが立場に相応しく節度を保ったものであればそのかぎりではない。政治思想ではよく知られる、(注2) ニーチェや(注3) アーレントが認めた古代ギリシヤ人の「タクエツ」さへの情熱も、そうした徳の一つだろう。そのほか、他人への分け前を伴う誇示も人々に受け入れられやすい。ここでは富の浪費について考えてみよう。誰かへの贈り物として、ちょっとした土産であれば気が利いているとみなされようが、あまりに高価なものはむしろ「B 的」になってしまふ。浪費は身の「タク」になつたものであれば美德になるが、行き過ぎると途端に示威的なものになる。美德と悪徳の境界はきわめて曖昧であり、⁵ 徳の傍らにはつねに悪徳が控えていると言つてよい。

かつて(注4) アリストテレスはこうした⁶ 絶妙の徳を「度量の広さ」(メガロプレペイア)と呼んだ。それは以下のようなものだ。

支出のうちには、われわれが尊い支出と呼んでいる種類があり、たとえば奉納品や神殿の造営、供儀といった神々に関わる支出や、同様にあらゆる神事に関わる支出、そしてまた悲劇の合唱隊や三段櫓船、あるいはポリスを挙げての饗宴などを、どうにかして盛大に設えなければならぬと⁷ 算段する場合のような、公共のために名望家に求められる支出こそ、度量の広い人の出番である。

これに対し、アリストテレスはやりすぎる人、超過する者のことを「あはつたりを示す者」と呼んでいる。はつたりを示す者はちょっとした会食でも結婚式であるかのようにもてなし、「小さな支出の対象に多くを費やすことによつて、調子外れのうこれ見よがしのことをする」。彼は「自分の富を誇示して、そのことで感嘆してもらえ」と踏んでいるのである。

それでは、適切な支出をしない(注5) 吝嗇家や守銭奴はどうだろうか。アリストテレスはこうした「度量の狭い人」について、「あらゆることに關して不足しており、たとえ最大限に費やしたとしても額は小さいので、美しさを損ねてしまい、(……) どうすれば出費を最小限にできるかあれこれ考えたあげく、出したものを悔やんで、⁸ 自分では万幸以上のことをしたと思ひ込む」と評価している。

私たちにも思い当たる節がないわけではないが、度量の狭さは、場合によつては「C 的なものになる。たとえば、(注6) ノルベルト・エリアスは前近代的な宮廷社会に「D 的であつた「お地位のための消費をいとわない氣質」あるいは「威信のための消費」について報告している。そこでは地位に見合った姿で現れないことは、社会の尊厳を失い、所属していた地位集団の交際から締め出され、没落することを意味していたという。

これに關して、(注7) リシユリユー公のある振る舞いが紹介されている。それによると、リシユリユー公は、貴族に相応しい金の使い方を教えるようと、息子に金の入った財布を渡したが、息子のほうは財布の金を使わずにそっくりそのまま持ち帰つてきた。それを知つたリシユリユー公は、その財布を窓から投げ捨てた。「これこそ社会的伝統にのつた社会化であつて、それは気前よく振る舞うことが位階上義務づけられていることを、ひとりひとりの心に刻み込むのである」、エリアスはそう分析している。

(山本圭『嫉妬論 民主社会に渦巻く情念を解剖する』による)

- (注1) デモステネスⅡ古代ギリシャの政治家、弁論家。紀元前三八四頃～紀元前三二二。
- (注2) ニーチェⅡフリードリッヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ(一八四四～一九〇〇)。ドイツの哲学者。
- (注3) アーレントⅡハンナ・アーレント(一九〇六～一九七五)。ドイツ出身の政治哲学者、思想家。
- (注4) アリストテレスⅡ古代ギリシャの哲学者。紀元前三八四～紀元前三二二。
- (注5) 吝嗇家Ⅱ過度に節約する人間。
- (注6) ノルベルト・エリ阿斯Ⅱイギリスの社会学者、哲学者、詩人。一八九七～一九九〇。
- (注7) リシユリユー公Ⅱフランスの政治家。ルイ十三世の宰相を務める。一五八五～一六四二。

問1 傍線部 a Ⅱ e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号 1 Ⅱ 5 Ⅱ〕

a Ⅱ ヘイコウ

1

- ① 新シヘイを発行する。
 ② フヘイも言わず従う。
 ③ 扉をカイヘイする。
 ④ オウヘイに構える。
 ⑤ そろばんと電卓をヘイヨウする。

b カンビ

2

- ① カンゲンに乗せられる。
 ② 船のカンパンで夕陽を見る。
 ③ イカンの意を表する。
 ④ カンブを消毒する。
 ⑤ 陶器の価値をカンテイする。

- ① 侮蔑 ② 致命 ③ 効果 ④ 支配 ⑤ 威圧

問2 空欄A、Dを補う語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)[解答番号 A 6、B 7、C 8、D 9]

c シツセギ

3

- ① セギベツの涙を流す。
② セギヒン洗うがごとし。
③ 縄文のイセギを保存する。
④ セギネンの恨みを晴らす。
⑤ ジセギの念にかられる。

d タクエツ

4

- ① ジュンタクな資源に恵まれる。
② ショクタクに花を飾る。
③ 荒地をカイタクする。
④ 業務をイタクする。
⑤ キタクの途につく。

e タケ

5

- ① ショウヤクを締結する。
② セショウして空き巣の被害を防ぐ。
③ 寺の補修にショウザイをつのる。
④ この建物はガンショウに造られている。
⑤ ジショウ自縛に陥る。

問3 傍線部1「相手を不快にしない自慢」とはどのような自慢ですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 10〕

- ① 自分の話を聞く相手に対して敬意を払い、不利な立場を強いられている人間への賞賛を巧みに取り混ぜた自慢
- ② 虚飾に満ちた自己顕示からではなく、理由もなく不利な立場を強いられた時に自分の正当性を主張するための自慢
- ③ 中傷や告発に対する弁明ではなく、不運に見舞われたり不正にあったりした自分の今までの業績を誇示する自慢
- ④ 自分の名声に対する節度を忘れず、相手の妬みをうまく利用しながら、自分への賞賛へと導いていくような自慢
- ⑤ 媚びへつらいや奴隷的な振る舞いを強いられている聴衆に対し、彼らへの賞賛を巧みに取り混ぜてなされる自慢

問4 傍線部2「自己愛」を意味するカタカナ語を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 11〕

- ① エゴイズム
- ② ペシミズム
- ③ ナルシズム
- ④ ロマンチズム
- ⑤ シニズム

問5 傍線部3「プルタルコス助言」とはどのようなものですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 12〕

- ① 自慢話を自分と他人に大きな利益をもたらすものにするには、誉められている人や偉い指導者・著名人などの言動から学ぶことが多い。
- ② 不適切な自己賞賛から逃れるためには、つねに他人に大きな利益をもたらすように心がけていたギリシャ人の節度ある振る舞いを見習うべきだ。
- ③ 自分の名声に対する十分な節度を守り、他人を不愉快にさせないような、自慢話にふさわしい機会や話題を理解する賢明さを身につけるべきだ。
- ④ 自慢話をする人間がその口実にする機会や話題は、伝染病のように人びとの間に広がるので、人との交わりを避けるようにするのが賢明である。
- ⑤ 人を自慢話へと誘う機会や話題から距離を置くべきであり、自分と自分の話を聞く相手に役立たないような自慢話など口にしないほうがよい。

問 6 傍線部 4 「時宜を得ない」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13〕

- ① 適切な機会ではない
- ② 時候をはずれた
- ③ 間髪をいれない
- ④ 間の取り方がずれている
- ⑤ その場のぎでしかない

問 7 傍線部 5 「徳の傍らにはつねに悪徳が控えている」とは、ここではどういうことを言っているのですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 14〕

- ① 他人への分け前を伴う富の浪費が美徳になるか、他人の妬みを買う悪徳になるかの境界は曖昧だということ
- ② 威圧的な富の浪費が気の利いた美徳になるか、示威的な悪徳になるかを区別するのは難しいということ
- ③ ちよつとした土産物が美徳と見られるか、身の程を超えた悪徳と見られるかは、受け手次第だということ
- ④ 富の浪費が分相応の美徳になるか、度を超して示威的な悪徳になるかは、紙一重の差であるということ
- ⑤ 公共のための浪費が美徳となるか悪徳となるかは、浪費する者の地位や名望に左右されるということ

問 8 傍線部 6 「絶妙の徳」に該当するものを、次の①～⑤（本文中のあゝお）のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 15〕

- ① あ「はったりを示す」
- ② い「小さな支出の対象に多くを費やす」
- ③ う「これ見よがしのことをする」
- ④ え「自分では万事必要以上のことをしたと思ひ込む」
- ⑤ お「地位のための消費をいとわない」

問9 傍線部7「算段」の同義語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 16〕

- ① 祈念 ② 妥協 ③ 示唆 ④ 譲歩 ⑤ 工面

問10 本文の内容に合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません)〔解答番号 17・18〕

- ① 自慢話は、昔から今に至るまで誰にとっても不愉快なものであるから、まともな人間はしてはならない。
② プルタルコスは、自分の業績を適切に誇示する弁論術の有効性を示すために、デモステネスの演説を援用した。
③ 自己愛から発する自慢話が人に不快感を与えないように、自分よりも他人の利益を優先させる謙虚さを持つべきだ。
④ アリストテレスは、神事に関わる尊い支出を惜しむような吝嗇家や守銭奴を、「はったりを示す者」と批判した。
⑤ 度量の狭い人間は自分の富の豊かさを誇示したが、単なる会食でも豪華な饗宴のように盛大に催したりする。
⑥ エリアスによれば、リシユリユー公は、気前のよさが貴族の威信を維持するための不可欠な義務であると考えていた。

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問10）に答えなさい。

だいたい、どんなことがあっても人は眠るものです。私自身も高校の頃は、やれ因数因子がどうの、円と振動がどうのといった、そういうしちめんどくさくて小難しい¹術語を聞きながら、それを子守唄^{うた}に寝ていたことがありますから。これだけは、時代が移り変わっても変わらないのかもしれません。

それに「講演で人を眠らせるようになったら立派なもんだ。下手な講演だとみんなイライラして眠る事もできない」なんていう意見もある。気がついてみたらみんな気持ちよく眠っているというのは、ある意味では最高の講演ということにもなるんでしょうね。ゆつくり、ゆつたりと流れる音楽のような講演。（中略）逆にいえば、聞いていて眠ることもできないような、苛^{いらだ}立つた話しぶりも多いということなのでしょう。

では私たちは何を心がけたらいいのでしょうか？ ただゆつくり話すように気をつければよいのでしょうか？ これまた難しい話です。悲しいかな、人というのは年を取るにつれて耳が悪くなってきます。言葉の聞き取りに²齟齬^{そご}が生じれば、当然、誤解も生む。それが寄る³年波^{ねう}のせいならばある程度はいたしかたのないことでしょう。ところがどうも現代では、⁴若い人たちは耳が悪くなってきた。身体的な話ではありません。そうではなくて、今の若い人たちは他人の言葉を耳で聞いてつかむことが下手になっっているような気がするんです。

（イ）会社で上司が部下に、今日すべき仕事について、どういう手順で何に用心したらいいのか、丁寧に話して説明するとします。そこで「質問ありませんか」と部下に尋ねると、若い社員が手を挙げて、「マニュアルにしてください。書いてください。でないと頭に入らない」と答えるそうなんです。（1）

「把握」という言葉がありますよね。つかむこと——とりわけ物事の意味や^a主旨^{しゅし}を頭でつかむということを指して使われる言葉です。でも、目でつかむ、耳でつかむ、ということもあるのではないのでしょうか。つまり、目で見たものから、耳で聞こえたものから、直接に理解する。そうした身体的なやりとりから初めて理解できる意味が必ずあると思うのです。（2）

人の会話にとって大切なのは、単に文字のみで表される意味でなく、そこに載せられた感情のトーンも含めてしっかりとつかむことです。ところが、どうも現代人はあまり静かな場所にいられない。それに、昔と比べてあまりに時間が早く流れる。ゆつくりと聞いたり話したりしている暇がないので、ついつい聞くのも話すのも利^{せつ}那^な的^{てき}になってしまふ。「会話」というよりは「反応」なんです。言葉を通じた心のやりとりというよりは、単に言葉に対して反応を繰り返しているだけ。話している相互の心情の展開に欠けるといふ⁵きらい^{きらい}がある。これはちよつと恐ろしい。こんな具合に言葉が扱われ続けていったら、この先どうなってしまうのか。強い^b危惧^{きこん}はありますが、なかなか有効な解決策は見つかっていません。

（ロ）、「世界で一番わかりにくいのは、日本語とアラビア語だ」と外国人はこんなふうに文句を言うらしい。まあ、たしかに日本語というのはかなり変わった言語体系ではありません。

じつは、日本以外の世界に住んでいるあらかたの人びとはバイリンガルだともいえます。ひとつに限らずいろんな言語を話せることが多い。た

たとえばアメリカだったら、英語だけじゃなく、むしろスペイン語のほうが通用する地域というのもある。同じように、どの国でもたいてい二カ国語くらいは通用することが多い。(3)

それに引き換え、日本人はモノリンガルだといえるでしょう。日本語以外の言語が通用する地域というのは、まずありえない。日本語というのは言葉と国籍が直結した、いわば体質的な言語だということです。だから外国語を話すことが下手なんじゃないかと言われてしまう。

その考えはたしかに成り立つ。ただ私は、逆にこんなふうにも思うんです。「日本語ほどバイリンガルな言葉はないのかもしれない」と。

日本語には「かな」と「漢字」がありますよね。この二つは、姿も体系もまったく異なっている。「かな」から「漢字」へ、「漢字」から「かな」へ、私たち日本人はそのひとつひとつの切り替えを、読むときばかりでなく、話すときも瞬時にこなしているんです。パソコンだったらこの変換は機械がやってくれるわけだけど、日常的なやりとりではそうはいかない。その膨大な量の変換を常に頭の中で行うことになる。(4)

そのぶん、翻訳は非常にうまい。それから、外国から入ってきた技術を理解して覚えるのも大層うまいといえます。

明治維新のとき、西洋文明の流入と同時に、それまでの日本語の概念になかった言葉も大量に入ってきました。日本人は、それらに何とか漢字をあてて訳して使ったわけです。たとえば「認識」とか「観念」だとかが代表的な例ですね。それを明治の初めのうちに見事にやつてのけた。これは、皆さんが想像している以上に高度な作業なんですよ。

(ハ)今の中国語の中で、政治にかかわるものなど公的に使う言葉の多くは、日本が明治の頃につくった造語を適用しています。それこそ「政治」や「経済」、「民主主義」や「共産主義」といった言葉が良い例です。いうなれば、言葉の逆輸入ですね。もともと中国で生まれた漢字が、日本で進化を遂げ、新しい姿で中国に流入している。これも大変おもしろい現象だといえるでしょう。

こんなふうに、かなと漢字という、まったく異なった姿のものを同時に使いこなしてきたのが日本人の特殊性であり特長ともいえるでしょう。これに対し、合理化が進む現代においては「こんな煩わしいことはやめろ、いつそ標準語を英語にしまえ」という考え方もあります。実際、すでに社員全員に英語をしゃべらせている会社もあるくらいです。(ニ)、外国人との伝達の際にはメリットがあるでしょう。しかし母国語を失った国というのはじつに惨めなものです。

伝統というのは、まさしく「言葉」なんです。その言葉を奪われてしまうということは、足場がない状態とまったく同じ。立つにも歩くにも走るにも、ただ外国の模倣にたよることになる。そもそも日本がこれまでの長い歴史の中で築いてきた伝統は、西洋の伝統とはずいぶん異なっています。⁷その基礎を捨て去って、今さらまるごと西洋から借りなければならいなんて、人間の文化にとつてこれほど悲惨なことはない。(5)

加えて、西洋の伝統からきた文明や技術の発展は、今や行き詰まりを迎えつつあるんです。年金問題も、核の問題も、すべて西洋で生まれた考え方に由来しています。日本は現代社会を形作るうえで、その文明を借りてきたはいけれど、今になって行き詰まってしまった。そして残念なことに、西洋の文明の力では、この行き詰まりの是正がなかなかできない。(ホ)、東洋の文明——さらにいえば日本独自の伝統なら、その行き詰まりをやわらげるか、是正する力になるかもしれない。そう考えると、伝統というのはそう簡単には手放してはいけないものだということ

がわかるでしょう。

(古井由吉『書く、読む、生きる』による)

問1 傍線部 a ～ e の漢字の読みが間違っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 19〕

- ① a 主旨(しゅひ) ② b 危惧(きぐ)
⑤ e 是正(ぜせい) ③ c 煩(わづら)わしい ④ d 惨(みじ)め

問2 空欄(イ)～(ホ)を補う語として最も適当なものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)[解答番号 イ 20、ロ 21、ハ 22、ニ 23、ホ 24]

- ① ところで ② たしかに ③ たとえば ④ でも ⑤ ちなみに ⑥ ただし

問3 傍線部1「術語」、2「齟齬」の意味として最も適当なものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号 1 ㉒ 25、2 ㉓ 26〕

1 「術語」

① 抽象語

② 隠語

③ 専門語

④ 新語

⑤ 文章語

2 「齟齬」

① ためらい

② 食い違い

③ 思い込み

④ 早とちり

⑤ 差し障り

問4 傍線部3「年波」と熟語の読み方（音読みと訓読みの組み合わせ）が同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号 ㉔ 27〕

- ① 為替 ② 仕事 ③ 手順 ④ 見事 ⑤ 年金

問5 傍線部4「若い人たちも耳が悪くなってきている」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 28〕

- ① 若い人たちは、自分の意思や主張を相手が苛立つほどにまくしたてることは得意でも、相手の言葉に静かに耳を傾けることは不得手であるということ
- ② 若い人たちは、ふだん騒々しい環境にいるため、あまり静かな場所には居ることができず、ひそやかな音を聞き分ける聴力が衰えているということ
- ③ 若い人たちは、目で見えたものや、耳で聞こえたものから直接理解することには長けていても、他人との会話を通して理解することは苦手だということ
- ④ 若い人たちは、既成のマニュアルを理解することは得意でも、どんな発言が出てくるか予想もつかない他人の言葉を耳で把握することが苦手だということ
- ⑤ 若い人たちは、相手の言葉をその意味だけでなく、顔の表情や声の調子などもじっくりと読み取りながら理解することが苦手になっているということ

問6 傍線部5「きらい」と同じ意味でこの語を用いた文として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号 29〕

- ① 本を読むのはきらいではないが、時間がとれない。
- ② 彼女がスピーチをすると、長くなるきらいがある。
- ③ 本校では、男女のきらいなく入学を受け入れている。
- ④ この子はわがままで、食べ物に好ききらいがある。
- ⑤ この成績なら志望校に入学できるきらいが十分にある。

問7 傍線部6「話すときも瞬時にこなしているんです」とありますが、話すときに「かな」と「漢字」の切り換えがスムーズにいかない例とし

て最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 30〕

- ① 「あすまでにかいとうできますか？」
- ② 「よろしくおねがいもうしあげます。」
- ③ 「これがわたしのめるあどです。」
- ④ 「ごこはあめになりそうだね。」
- ⑤ 「おれ、いやわたしとしてはおつけーです。」

問8 傍線部7「その基礎」とは何ですか。その内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 31〕

- ① 日本の伝統
- ② 日本語
- ③ 日本の歴史
- ④ 日本人の特殊性
- ⑤ 日本の社会

問9 本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 32〕

そりやあ疲れるはずですよね。

- ① (1)
- ② (2)
- ③ (3)
- ④ (4)
- ⑤ (5)

問10

本文を読んだA～F六人の生徒が意見を述べ合いました。その内容が本文の理解として**適当でないもの**を、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)[解答番号 33・34]

- ① A この文章は筆者がどこかで行った講演を書き起こしたもので、全体的に言葉がテーマとなっているけれど、大まかに言って前半と後半では内容が異なっている。
- ② B うん、前半では今の若者たちの言葉の理解力を問題視しているけれど、後半では日本語の特徴へと話が展開し、最後は言葉と伝統の関係にまで及んでいる。
- ③ C 若者の理解力が落ちていくということは、日本人にとってさえ日本語は難しいということだろうね。確かに「かな」と「漢字」を使いこなすのは大変なことだ。
- ④ D 確かに、最後の部分では、母国語を失うことは伝統を失うことであり、伝統を失うことは生活の全てが外国の模倣になってしまうことだとまで言い切っている。
- ⑤ E それは言い換えると、日本人としてのアイデンティティが危うくなるということだろうね。だから、筆者が言うように母国語も伝統も簡単に手放してはいけないわけだ。
- ⑥ F うん、やっぱり日本人は日本語を話さなきゃあね。筆者も、「かな」と「漢字」の二つの体系から成り立つ日本語は、日本人の体質にあっていると言ってるしね。